

平成 28 年度全国学力・学習状況調査の結果・分析について

三重県教育委員会

平成 28 年 11 月

本年 4 月に実施された「平成 28 年度全国学力・学習状況調査」の結果が、9 月 29 日に文部科学省から公表されました。

本県では、小学校において調査開始以来初めて、「小学校国語 B」、「小学校算数 A」で全国の平均正答率を上回りました。中学校では、「中学校数学 A」で全国に並び、小中学校合わせた 8 教科中 3 教科で全国の平均正答率以上となりました。また、無解答率についても、8 教科中 6 教科で全国の平均無解答率との差が、これまでになく改善されました。

全国の平均正答率や平均無解答率との差が大きく改善した昨年度の結果を受け、子どもたちや教職員に芽生えてきた「やればできる」という思いが形になってきています。各学校では、校長のリーダーシップのもと、組織的・継続的な授業改善の P D C A サイクルを活用した教職員の取組が一層推進されるとともに、子どもたちが日頃の学習活動に、主体的に根気よく取り組んできたことが、成果に結びついたと考えます。

これらのことを励みとするとともに、更なる改善のプロセスとして位置付け、**子どもたちの笑顔のため、子どもたちの未来のために、更に何が必要かを考え**、学校だけでなく、家庭、地域、大人一人ひとりが当事者意識を持ち、子どもたちの能力を最大限に引き出すことが必要です。

本年度から「みえの学力向上県民運動セカンドステージ」を展開しています。**学校では授業改善等の取組を深め、家庭・地域では生活習慣・学習習慣・読書習慣の確立等の取組を広げ、家庭の状況により、対応が難しい問題については、地域による学習支援等により、地域で支えるという方向性を基本としています。みえの子どもたちが達成感や自己肯定感を持ち、前に進んでいける環境を大人全員で創り上げていくためにも、県民力を結集し、県・市町等教育委員会、学校、家庭、地域がともに手を携えて全力で取り組んでいきましょう。**

子どもたちの希望と未来を支える学力を育んでいくため、県民の皆様方の御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

～全ては「子どもたちの笑顔」のために～

※調査結果の取扱いについては、文部科学省が示す実施要領における「5（5）調査結果の取扱いに関する配慮事項」

をご覧ください。（P. 132 に抜粋して掲載しています。）